

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	プログラミング応用	科目名	モバイルアプリケーション開発	科目コード	T1285A2
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単位数	4単位
担当教員名	森岡 卓哉	履修グループ	3D(MP/SP)	授業方法	演習
実務経験の内容	IT 関連企業などでWEB アプリケーションの開発や支援システムの構築を10年にわたり行った業務経験を生かして、HTTP 通信の基礎部分から実践的に講義する。				
学習一般目標	スマートフォン向けOSとして盤石な地位を築いたAndroidで動作するアプリケーション開発を通じ、スマートフォンで動作するモバイルアプリケーションの開発の基本を理解する。				
授業の概要および学習上の助言	講義は、教科書サンプルプログラムを実行し、結果を比べて行く。Andorid アプリの特徴やAndroid アプリのライフサイクル、Android アプリの作成方法を学ぶ。 実習では講義内容を踏まえ、実際にサンプルプログラムを作成し動作の確認を行う。さらに理解を変更・追加を行いながら理解を深めていく。学習の区切り毎に課題として追加の課題プログラムを作成する。				
教科書および参考書	教科書: Android アプリ開発の教科書				
履修に必要な予備知識や技能	Java を用いて基本的なプログラムを作成できること 特に、クラス・継承・抽象クラス・インタフェースに関しては、不安であれば復習しておくこと				
使用機器	PC				
使用ソフト	AndrodiStudio				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	Andorid アプリ開発の概要、基本的なAPI の使い方を理解し、説明できる。			
	1・2	Andoridアプリ上のUIを用意し利用する為の手順を理解しプログラムを作成できる。			
	1・2	Andoridアプリ上のレイアウトを調整し利用する為の手順を理解しプログラムを作成できる。			
	1・2	Andoridアプリ上で利用するデータを管理する為の手順を理解しプログラムを作成できる。			
	5	講義とプログラム実習に意欲を持って取り組むことができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	40	30					30	100	
	学部 D P	1.知識・理解	30	20						50
		2.思考・判断	10	10						20
		3.態度								
		4.技能・表現								
5.関心・意欲							30	30		
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	授業で行ってきた内容のまとめとして「確認課題」を作成して貰い、提出状況によって判断する。								
	クイズ 小テスト	区切り毎の「練習課題」の提出状況によって判断する。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。								

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	Android アプリ開発環境の作成	講義・実習	
第2週 /	Android アプリ開発の基本手順	講義・実習	
第3週 /	ビューとアクティビティ	講義・実習	
第4週 /	イベントとリスナ	講義・実習	
第5週 /	リストビューとダイアログ	講義・実習	
第6週 /	レイアウト	講義・実習	
第7週 /	画面遷移とインテント	講義・実習	
第8週 /	オプションメニューとコンテキストメニュー	講義・実習	
第9週 /	フラグメント	講義・実習	
第10週 /	データベースアクセス	講義・実習	
第11週 /	非同期処理と WebAPI	講義・実習	
第12週 /	メディア再生	講義・実習	
第13週 /	確認課題	講義・実習	
第14週 /	確認課題	講義・実習	